

見ごろの植物マップ

2023年/10月上旬~

④ダリア



⑤フウセントウワタ



⑦入り口花壇



①ムラサキシキブの実



③フヨウ



アイコンについて

- お手洗い
- ※車椅子での利用・おむつ買え可能
- 売店
- 自販機

至山直中町

※天候により見ごろが前後する場合があります。

①ムラサキシキブの実



科名: シソ科
場所: ふれあいの森

落葉低木で、温り気の多いところを好み、紫色の実を群がるようつます。

6月頃に淡い紫色の花を咲かせますが、晩秋まで残る美しい紫色の実の方が印象的です。

②センダンの実



科名: センダン科
場所: ふれあいの森

花も実も美しい！青空を背景に、たわわにみのる「センダン」の実は小さな梨の実のようです。

薬用植物の一つとしても知られ、果実はしょやけ、樹皮は虫下し、葉は虫除けにするなど、薬用に重宝されていたそうです。

③フヨウ



科名: アオイ科
場所: 花木園藤棚池前と水仙郷

古くに中国では、フヨウの樹皮は下駄の鼻緒や和紙の補強剤、縄などに加工されて、身近な生活用品として使われていました。

暑さにめげず、毎日のように次々と花が咲いてくれます。

④ダリア



科名: キク科
場所: 花木園入口付近と大池園路

秋のダリアが咲き始めました。ダリアは豪華で力強く咲く大輪種から、優雅な中輪種や可憐な小輪種、シンプルな一重咲きや変化咲きなど品種が非常に多く、色鮮やかな花姿が特徴的です。大小さまざまな花は古くから親しまれています。

⑤フウセントウワタ



科名: ガガイモ科
場所: 管理事務所近く園路花壇

フウセントウワタの名前の由来は、「風船」の様に果実が膨らむ姿と「唐(外国)」からきて「綿」の様な冠毛をもつ種子を放出する事からきています。花は、幾つかの小花が集まり釣り下がる様に可愛らしく咲きます。

⑥カキ



科名: カキノキ科
場所: スポーツハウスからバラ園への園路

柿は、日本で最も古くから食用とされてきた果物で、奈良時代まで遡ることが出来ます。16世紀半ば、すでに干し柿として加工され、武士の保存食料として珍重されていたそうです。

「カキ」という言葉が、そのまま学名にもなるほど日本らしい果実です。

⑦入り口花壇



場所: 管理事務所手前

第2・3駐車場から管理事務所へ向かう道中、交差点のすぐ側にある花壇です。たくさんの蝶が飛び交い、まだ暑い中でも元気いっぱい咲いています。新しく植付けを行い、コスモスは10月中旬には見ごろを迎えます。

どんぐりコーナー



科名: 【アラカシ】ブナ科
【シラカシ】ブナ科
場所: 園内各所

【アラカシ】常緑高木で、葉には大きな鋸歯(きょし)が見られます。枝や葉が粗く、硬いことが名の由来です。

【シラカシ】常緑高木、櫻の木の中でも、幹を切った断面が白いため白櫻(シラカシ)と呼ばれます。